

ふれあい

2015.1.15
No.197

発行：ふれあい編集委員会 〒220-0011 横浜市西区高島 2-6-32 善仁会グループ TEL:045(453)6772 ホームページ www.zeninkai.or.jp

特集

- ① 私の考える「思いやり」と具体的な取り組み
- ② 「あいさつ」と「清掃」



心のかよう医療・福祉を患者さま、お客さまへ
善仁会グループ

年頭にあたって



明けましておめでとうございます。

皆さまと穏やかな新年を迎えられましたことをお慶び申し上げます。

私たちが透析医療の道を歩み始めて40年がたちました。新年を迎え改めましてこれまでを振り返ってみますと、これまでの道のを明るく照らし導いてくださったのは、同じ透析医療の道を歩む諸先輩方、日々お世話になっている関係各所の皆さま、そして何よりも一人ひとりの患者さまであったと実感しております。

これからも患者さまに安心して快適な透析を受けていただくため、私たちは一人ひとりの患者さまとしっかり向き合い、その想いを真摯に受け止め、その方にあわせた最適な医療を提供してまいります。また医療の質のさらなる向上にむけてグループ一丸となって邁進するとともに、福祉の分野も含めた関係各所とも緊密に連携し、これまで以上に患者さまの支えとなれるよう努力してまいります。そして何よりも患者さまをはじめ関わる全ての皆さまと豊かな信頼関係を育み、「心のかよう医療・福祉」を実践してまいります所存です。

皆さまにとって本年が心安らかな一年でありますよう祈念いたしますとともに、今年も変わらぬご指導を賜りますよう、何卒宜しくお願い申し上げます。



善仁会グループ
代表理事長 渡邊光康

特集

1

私の考える「思いやり」と具体的な取り組み

透析患者さまに心からご満足いただきたい。そのためにも、私たちは医療・福祉の質の向上に努めるとともにグループの理念である「思いやりの心」の実践に取り組んでいます。今年最初のふれあいでは、現場のスタッフがどのように考え、そして行動しているかをご紹介します。



母の手



横浜第一病院
看護部

水谷 昌代

看護とは病気の人を看護(みまも)ることと学んだ時、子供のころ風邪をひくといつも母が私のひたいに手をあててくれたことを思い出しました。あの行動と気持ちこそが看護の原点であり、思いやりなのだと思います。

看護師の役割は患者さまの立場に立つことではありません。横に並んで寄り添うことだと思います。そのためには、患者さまの思いを理解しようとする気持ちが必要です。しかし、その思いを知るには、まず自分の言動は患者

さまにどのような印象を与えているのか、自分を客観視する視点が必要だと思います。

それまで生きてきた環境が違えばひとりひとり考え方や受けとめ方は違います。私自身が様々な人と関わる中で様々な考え方を知り多様性を身につけること、それが今の私が考える思いやりです。

私がつらいと思うよりも前にさしのべてくれた、母の手のぬくもりを忘れない思いやりのある看護師でありたいと思います。



私の考える思いやり



経堂駅前クリニック
臨床工学部 副主任

向井 太郎

医療従事者にとっての思いやりとは何か?…とても難しいですが、シンプルに考えると、患者さまの求めていることを提供するのが医療者の思いやりではないか?と思っています。その提供には二つのことが大切だと考えます。

一つは「心」。二つ目は「治療への知識と技術」です。

透析患者さまは長期にわたり、治療を継続していかなければなりません。そのことを真剣に受け止める私たちの「心」が必要だと思います。医療者に求められること、それは「人を

大切に、人の人生と真剣に向き合う」その心が根底に無ければ本当の思いやりには繋がらないと考えます。ただ、それだけでは足りません。私たちは専門職です。深い知識、安全で的確な技術が求められます。心と技術の両方が伴ってはじめて、患者さまの求めることに近づけるのではないかと考えます。

思いやり行動にゴールはありません。日々の業務に努力を重ね、患者さまが何を求めているのかを察知し、実践していくことが、思いやりに繋がると考えます。



患者さまから学ぶ「思いやり」



八王子腎クリニック
看護部 係長

加藤 美穂

私たちが日々患者さまと関わる中、自分たちの思いやり行動について振り返ることが多々あります。中でも、患者さまが来院して初めて交わす言葉、挨拶です。この挨拶が気持ちの良いものかどうかで患者さまに与える印象は大きく違います。私たちは毎回の来院時に快適に過ごしていただけるよう、挨拶の時の表情・声のトーン・姿勢などを確認し、スタッフ間で指摘し合っています。

先日患者さまより、「スタッフの元気で明るい挨拶は、しんどい時や辛い時に元気をもらえ励まされる」とお聞きしました。改めて挨拶が患者さまに与える影響が大きいと感じました。また私自身は姿勢にも気を付けております。身長

が低い私は少しでも背が高く見られたいという気持ちで心掛けていたことですが、患者さまからはよく姿勢が良いと声をかけて頂きます。背筋を伸ばした姿勢は患者さまに良い印象を持っていただけているのかなど、思っています。

このように、患者さまからのお言葉で気づき、振り返られる事は多く、私たちの言葉や態度は容易に患者さまの心を良くも悪くも影響を及ぼしてしまうのだと実感しています。そのため常に相手の立場となって考えられる思いやり行動をスタッフへ指導していくことが私の役割だと思っております。これからも患者さまの心の満足のために明るい笑顔と挨拶で頑張ってみようと思います。



私が考える「思いやり」について



福生駅前クリニック
ケアドライバー

中上 久美子

私たちは何気ない思いやりに囲まれて生きています。しかし、それが当たり前だと思って、感謝することを忘れてしまっている人が多いと感じます。私たちが大切にしている挨拶もそうです。例えば、「お疲れ様」「ありがとう」の言葉は、気持ちを込めて相手に伝わるように言わないと意味がないのではないのでしょうか。相手に伝わって意味がある言葉、思いやりある言葉になると私は思います。

私は患者さまに明るい気持ちになって頂くよう、笑顔で明るい挨拶を意識しています。暗

い表情の挨拶では、患者さまも安心して私に車の運転を任せようと思って頂けないと考えております。一方で、患者さまから、「今日も運転ありがとうございます。明後日もよろしく」と言って頂いたことがありました。何気ない‘ありがとう’の言葉で、とても心が温かくなると共に、私も挨拶でより一層患者さまに元気を与えたいと思う出来事でした。

今一度、何気ない思いやりについて考えてみようと思います。



思いやりの入口



湘南クリニック
臨床工学部 係長
加川 康浩

「思いやり」、みなさんはどのようにお考えでしょうか？

私は「思いやり」は非常に難しく奥深いと考えております。思いやりの意味を調べてみると「他人の身の上や心情に心を配ること」といった意味です。全く異なる他人の身の上や心情を理解することは難しいことです。そこで、私は「おもてなし」や「思いやり」で定評のある、旅館の女将をお手本として「思いやり」を推進しております。女将をお手本とする中で重要なことは、お客さまのことを良く知ることだと思っております。お客さまを良く知りコミュニケーションを取ることで、お客さ

まの心情や身の上を理解できるようになります。また、コミュニケーションを取るにあたり、礼儀やマナーが、非常に重要であると考えています。礼儀やマナーが出来ないとお客さまからの信頼を得られず、円滑なコミュニケーションを取るのは難しくなります。

礼儀やマナーは「思いやり」の第一歩であり、基本的行動が出来ることで、「思いやり」の入口に立てると思っております。私は、まだまだ入口付近ですが今後も多くのお客さまとコミュニケーションを取り、「思いやり」を推進しお客さまに満足を感じて頂きたいと考えております。



試行錯誤



湘南台じんクリニック
事務長
東郷 智

善仁会グループは、明確な理念のもとで患者さまへの『思いやり』を念頭に置き日々邁進しております。しかしながら、すべての患者さまに同じ挨拶・振る舞い・会話をしたとしても、同じように受け止めていただけるとは限りません。また、その時の体調や気分によって感じ方も異なると考えております。その状況の中で何が最善かを考え、試行錯誤を繰り返す毎日を送っております。

印象深いエピソードとして、患者さまをおんぶして3階までお連れしたことがあります

た。当時担当していたクリニックが入居するビルのエレベーターが故障してしまい、緊急対応という状況でした。正直なところ、この行動が正解かは判りません。しかし患者さまと直接の関わる機会の少ない私にとって、非常に貴重で有意義な体験となりました。

これからも数少ないふれあいの機会を大切に、少しでも皆さまのお力添えが出来れば光栄です。

特集

2

「あいさつ」と「清掃」

患者さまと心のかよいう医療をご提供するために。そして安全で快適な医療をこれからも継続していくために。「あいさつ」と「清掃」は、医療従事者にとってとても大切な基本行動のひとつです。そんな基本の実践に取り組むスタッフにその想いを伺いました。



挨拶について



横浜第一病院
臨床工学部 副主任
佐藤 智幸

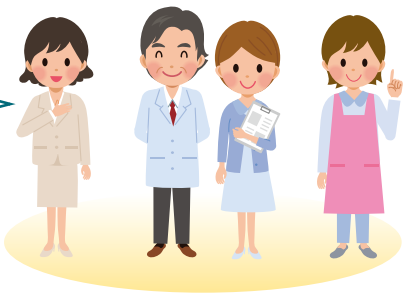
私が「挨拶」について心掛けていることは「しっかり挨拶をする」というとてもシンプルなものです。私は臨床工学技士として就職した時、患者さまに安心して透析を受けて頂くためには、良いコミュニケーションが必要だと考えました。しかし私は、初めて会う方と会話することが苦手でした。そこで、まずは挨拶をしっかりしようと思ったことがこの心掛けのきっかけでした。

笑顔で爽やかな挨拶を続けていると、「いつも丁寧に挨拶してくれてありがとう」とのお声を患者さまから頂いたこともありました。

挨拶のおかげで信頼関係に繋げることができたのだと思います。また、挨拶がきっかけで会話が進んだり、患者さまの変化に気付くことができたこともありました。

「しっかり挨拶をする」に加えて私が大切にしているのは、「挨拶は相手に対して尊敬や親愛の気持ちを表す動作である。」ということです。患者さまをはじめ、私が接する全ての方への尊敬の意を忘れず、これからもしっかりと挨拶を続けていきたいと思っています。

「あいさつ」と「清掃」で気持ちの良いクリニックを目指しています



ご案内のように、私たちは「あいさつ」と「清掃」という基本行動の徹底に全てのスタッフが取り組んでおります。「今日も施設にいらっしゃる患者さまやお客さまに対して気持ちの良い挨拶ができたか?」「クリニックは整理整頓が行き届き、きれいに清掃されているか?」ということは、皆さまを施設にお迎えするために、医療の安全を十分に確保するために、そしてご利用いただく患者さまに

とって快適な環境を維持す

るために欠かすことができません。

基本行動の実践は、私たちの理念である「思いやりの心で接する医療・福祉」の基礎となるものです。これからも基本を疎かにせず、患者さまに心から満足していただけるよう、取り組んでまいります。



皆が協力してこそ

渋谷池尻腎クリニック
事務部

百木 美佳



クリニックが移転して3ヶ月後に入職しました。事務長と面接をした時に、新しくてきれいなクリニック!と思ったのを覚えています。

「整理整頓・清掃」これは簡単なようで実は大変な事です。スタッフ皆の協力があつてこそだと思います。患者さまが気持ち良く通院して下さり、スタッフも気持ち良く仕事が出る様にする。当クリニックには率先してきれいにしてくれるスタッフがいます。お願いするとイヤな顔ひとつせず手伝ってくれるスタッフもいます。

一人では難しいことも協力者がいれば百人力です。細かい決め事も勿論あります。セロテープを使う場所を考えたり、帰る時は書類などを机の上に出したままにせず片づける等。日々の積み重ねを大切にしています。時には口うるさいおばさん?!お母さん?!お姉さん?!になることもありますが、そこはご愛嬌。許して下さい。

これからも皆と一緒に協力し合いがんばって取り組んでいけるよう努力しようと思います。

❀ 長期透析患者さまへの想い ❀

現在、日本国内の透析患者さまは30万人以上とされています。このうち、20年以上の透析歴の患者さまは24,115名もおられるとのこと*。善仁会グループにおいても、長期の透析歴の患者さまが多数おられます。この度、透析歴20年の患者さま59名、30年の患者さま23名、そして40年を迎えた患者さま1名、合計83名の方々にささやかな記念品を贈呈いたしました。

長期にわたる透析は、日々の食事や合併症の管理など、気遣うことも多く、様々なご苦勞もあろうと思います。そのなかで、しっかりと自己管理され、透析に臨んでおられる皆さんの姿は、私たち医療従事者にとっても励みとなっております。

人生の先輩でもある皆さまを前に、大変おこがましくもございますが、これからも私たちはスタッフ一丸となって全ての患者さまの透析生活を支えてまいります。今後とも、どうぞ宜しくお願い申し上げます。



*図説 わが国の慢性透析療法の現況 2013年12月31日現在(日本透析医学会)

第36回 善仁会研究報告会

11月30日(日)、そごう横浜9階の新都市ホールにて、第36回善仁会研究報告会が開催されました。

特別講演は東京慈恵会医科大学 腎臓・高血圧内科 教授 横尾 隆先生に『腎臓再生研究の現状と期待 ～本当に透析患者に届くのか?～』というテーマでお話しいただきました。再生医療の中で最もハードルが高いとき

れる腎臓再生研究の現状と課題について、分かり易くお話しいただきました。

スタッフによる26演題の一般講演に加え、昨年引き続きポスター発表も行われた今年の報告会。639名の参加者は発表後の質疑応答にとどまらず、会場の各所で活発に意見交換や情報共有を図り、大変貴重な機会となりました。

特別講演



東京慈恵会医科大学 腎臓・高血圧内科 教授 横尾 隆先生



会場の様子



思いやりエキスパートナース第5期生認定

優れた知識と技術、そして「思いやりの心」という理念の実践が求められる「思いやりエキスパートナース」認定制度。

その第5期生として、5名の看護師が認定を受けました。今後も各クリニックにおいて、患者さま満足の向上に努めるとともに、グループ全体の看護の質の向上に取り組んでまいります。



海原に 剣描きたる 初日の出 (坂本)

横浜第一病院バスキュラーアクセスセンター

バスキュラーアクセスに専門的かつ総合的に対応するセンターとして、最新の医療技術、設備のもと、迅速な診断、長期に安定したバスキュラーアクセスの作製、維持に取り組んでいます。



センター長 菅川 成

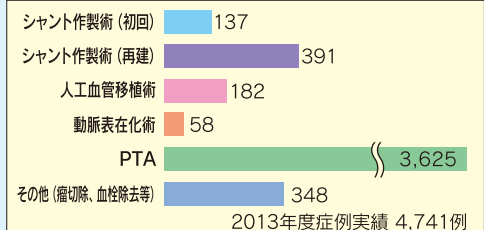


診療時間 午前9:00～15:30

休診日 日曜・年末年始

予約制 バスキュラーアクセス外来の診療は予約制となっております。ご来院前にお電話でお問い合わせください。(緊急を要する場合は別途ご相談ください。)

●横浜第一病院バスキュラーアクセス関連手術実績



専用電話 : 045-453-6709 FAX : 045-453-6701